

新しい地方経済・生活環境創生の実現に向けた
第3次五霞町まち・ひと・しごと創生総合戦略

令和7年3月
五霞町

新しい地方経済・生活環境創生の実現に向けた
第3次五霞町まち・ひと・しごと創生総合戦略
(序論)

I 策定の趣旨と位置づけ

1 五霞町まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定趣旨

国では、「まち・ひと・しごと創生法」（平成26年法律第136号）を制定し、「まち・ひと・しごと創生」の一体的な推進を図るため、人口の現状と将来の姿を示し、今後目指すべき将来の方向を提示する「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」と、今後5か年の目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめた「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

本町においても、国や県と一体となって地方創生に取り組んでいく必要があることから、まち・ひと・しごと創生法第10条第1項の規定に基づき、平成28年3月「五霞町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、その改定となる「第2次五霞町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を令和3年12月に策定しました。

その後、国では、地方がそれぞれの特性に応じた発展を遂げることができるよう、大規模な地方創生策を講ずるため、「新しい地方経済・生活環境創生本部」の設置が令和6年10月11日に閣議決定され、従来の地方創生施策（地方創生1.0）を発展させた「地方創生2.0」の基本構想の5本柱として、以下の基本的な考え方を定め、今後10年間集中的に取組、基本構想の策定に向け、議論を進めています。

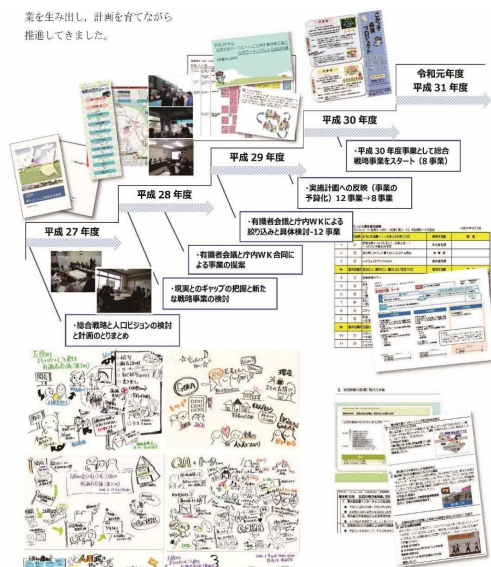
- ①安心して働き、暮らせる地方の生活環境の創生
- ②東京一極集中のリスクに対応した人や企業の地方分散
- ③付加価値創出型の新しい地方経済の創生
- ④デジタル・新技術の徹底活用
- ⑤「産官学金労言」の連携など、国民的な機運の向上

これに伴い、新しい地方経済・生活環境創生の実現に向けた第3次五霞町まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定します。なお、既に策定済みの五霞町DX推進計画と連携して実施していくものです。

I 策定の趣旨と位置づけ

2 五霞町まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定の経緯

平成28年3月に策定された「五霞町まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、施策の方向性のみを定めた計画でした。それをベースに有識者と庁内職員によるワーキングチーム会議により効果的な事業を検討し、予算化できる事業を生み出し、計画を育てながら推進してきました。その後、第2次五霞町まち・ひと・しごと創生総合戦略は、令和2年3月策定の第6次五霞町総合計画と一体的に推進することとなり、令和3年12月には改定版を策定し、さらなる総合戦略の深化を図っています。



第 6 次五霞町総合計画と一体的に推進
(令和2年3月策定)



五霞町DX推進計画
令和4年5月、その後3回の改訂



第 6 次五霞町総合計画の一体化に合わせて第 2 次五霞町総合戦略及び人口ビジョンの見直し (令和2年3月策定)



令和3年12月版改定版を策定

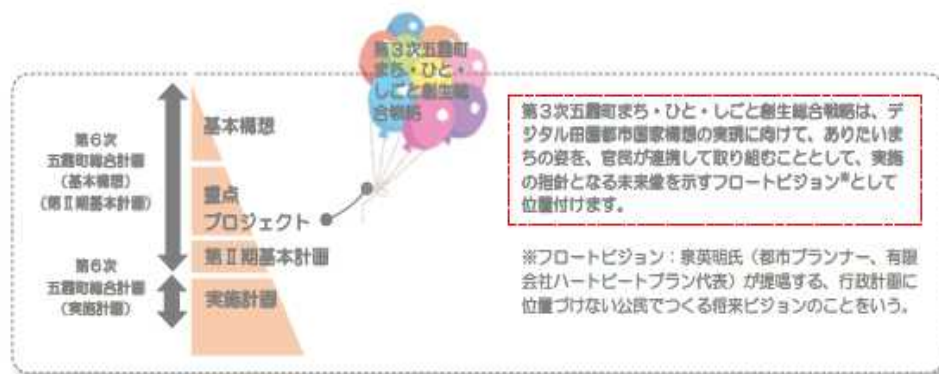
I 策定の趣旨と位置づけ

3 第3次五霞町まち・ひと・しごと創生総合戦略の位置づけ

本町の総合戦略は、五霞町人口ビジョンに掲げた人口の将来展望を目指し、「まち・ひと・しごと創生」に直接的に関わる取組について、施策の基本的方向、基本施策、具体的な施策などを定めた計画でしたが、第6次五霞町総合計画第2期基本計画が実行フェーズに入ることから、今後は、総合戦略のさらなる推進を図っていくために、第3次五霞町まち・ひと・しごと創生総合戦略は、第6次五霞町総合計画と別に定めるものの、連携を図り、スピード感をもって取組むものとしします。

取組の考え方を記載した部分を「戦略編」、具体に進めていく内容を整理した部分を「アクションプラン編」とし、これら内容を整理したものを「新しい地方経済・生活環境創生の実現に向けた第3次五霞町まち・ひと・しごと創生総合戦略」とします。

状況に応じ、適宜改訂を行い、柔軟に対応ができるものとしします。



Ⅱ 計画期間と計画の推進

1 五霞町まち・ひと・しごと創生総合戦略の計画期間

計画期間は、2025年度（令和7年度）から2029年度（令和11年度）までの5年間とします。

なお、総合計画の基本計画・重点プロジェクトと連携して推進していき、総合戦略に掲げた施策の効果を検証し、必要に応じて、施策の見直しや総合戦略の改訂ができるものとします。



Ⅱ 計画期間と計画の推進

2 五霞町まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進

「まち・ひと・しごと創生」を実現するためには、PDCAサイクル（※）とOODAループ（ウーダーループ）（※）の推進による進捗管理体制を確立し、取組状況を客観的に点検・検証することが必要です。

このことから、基本目標ごとに設定した数値目標等を基に、実施した施策・事業の効果を検証し、総合戦略策定組織において取組状況を客観的に点検・検証し、必要に応じて総合戦略の改訂を行っていくものとします。

※ PDCAサイクル：Plan（計画）、Do（実施）、Check（評価）、Action（改善）の4つの視点をプロセスの中に取り込むことで、プロセスを不断のサイクルとし、継続的な改善を推進するマネジメント手法のこと。

※OODAループ（ウーダーループ）：観察（情報収集〈Observe〉）⇒仮設構築（情報収集からのアイデアによる案作成〈Orient〉）⇒意思決定（Decide）⇒実行（Act）の4つのフェーズを繰返して運用する手法のこと。

新しい地方経済・生活環境創生の実現に向けた
第3次五霞町まち・ひと・しごと創生総合戦略
(戦略編)

I 目指すべきビジョン

1 基本的な考え方

予見困難な現在において、私たちは、コロナ禍を乗り越え、よりどころとしていた「当たり前」の環境や考え方が簡単に崩れ去ることを経験しました。

このような予見困難で不安も多い時代の中でも、五霞町で暮らし働く方々が幸せを実現していくための戦略が必要です。

そのため、“活力ある環境・持続ある仕組みづくり”による戦略を定め、小さな町でも幸せが実感できる環境を充実させ、心豊かな暮らしのまち、持続するまちを創っていきます。

Ⅱ 「活力ある環境・持続ある仕組みづくり戦略」

1 活力ある環境・持続ある仕組みづくり戦略に向けた基本的な考え方

本町には、雄大な自然と人々の暮らしを支え育む利根川・江戸川を始め、田園・緑地環境など、水と緑に育まれた、豊かな自然環境があります。

本町の「豊かな自然環境を有しつつ、広域的な道路網を備えている」といった強みを活かし、「行きたくなるまち」から「住んでみたいと思うまち」へ、さらに「幸せを実現できるまち」へと進化を図っていく必要があります。

2 活力ある環境・持続ある仕組みづくり戦略に向けた基本目標

- ・基本目標 1 新たな地方創生による地域再生
- ・基本目標 2 デジタル技術を活用した地域づくり
- ・基本目標 3 安全・安心な強いまちづくり
- ・基本目標 4 先進的産業を活用した未来づくり

Ⅲ 「重点取組事項」

1 新たな地方創生による地域再生事業

- ・町に人を呼び込み、交流し、地域の方との関係性を築いていく。
- ・しごと、結婚・出産・子育て、生活がしやすいまちづくりを推進していく。
- ・家族、地域、学校、行政、事業所、関係団体などが連携した地域づくりを進めていく。
- ・地域拠点を生かした賑わいづくりを進めていく。

(1) 具体的な事業

- ①交流人口・関係人口創出プロジェクト
- ②働く・子育て・生活元気プロジェクト
- ③地域連携活性プロジェクト
- ④拠点整備プロジェクト

2 デジタル技術を活用した地域づくり事業

- ・DX推進による住民・地域の利便性向上を推進していく。

(1) 具体的な事業

- ①DX推進による利便性向上プロジェクト

Ⅲ 「重点取組事項」

3 安全・安心な強いまちづくり事業

- ・小さいまちだからできる防災対策を推進していく

(1) 具体的な事業

- ①災害に強いまちづくりプロジェクト

4 先進的産業を活用した未来づくり事業

- ・半導体などの戦略分野への取り組みを推進していく。

(1) 具体的な事業

- ①未来を考えた産業プロジェクト

Ⅳ 「成果指標」 (1)

指標名	令和5年度	令和11年	基本目標
	現況値	目標値	
土地利用総面積に対する宅地化率	18.1%	18.5%	基本目標 1
住居系を除いた市街化区域・地区計画面積	194ha	276ha	基本目標 1
地域優良賃貸住宅の入居戸数	0戸	60戸	基本目標 1
都市計画道路整備率	90.5%	96.0%	基本目標 1
ごかりん号の乗客数（年間）	14、954人	18、000人	基本目標 1
温室効果ガス排出量（年間）	160 t	158 t	
1日1人当たりのごみ量（年間）	801g/人	760g/人	基本目標 1
上水道有収率	98.1%	99.0%	基本目標 1
公共下水道及び農業集落排水施設における接続率	83.9%	85.0%	基本目標 1
公募設置管理制度（Park-PFI）など民間活力を活かした管理運営がされている公園数	0箇所	3 箇所	基本目標 1
特定空家数	0 戸	0戸	基本目標 1
まちで策定する計画に基づく読書量を達成した児童生徒の割合	小学生65.5% 中学生10.2%	小学生：80% 中学生：60%	基本目標 1
中学校卒業段階で英検 3 級相当以上を取得している生徒の割合	中学生：32%	中学生：60%	基本目標 1
教職員の残業時間を年間とおして月45時間以内の教職員割合	小学生70.5% 中学生13.6%	小学生：85.0% 中学生：50.0%	基本目標 1
地域クラブ活動の数	0クラブ	8クラブ	基本目標 1
何らかの理由により学校に登校できない児童生徒の学び場の確保と適応指導教室の指導員の充実	教室数 1教室 指導員 2人	教室数 1教室 指導員 2人	基本目標 1
事業所等における家庭教育学級の開催年間回数	0回	5回	基本目標 1
夜間開設講座数	0講座	5講座	基本目標 1
五霞町B&G海洋センター年利用者数（年間）	11、905人	13、000人	基本目標 1
放課後児童クラブ待機児童数	0人	0人	基本目標 1
「子育て応援フェスタ」の参加者数（年間）	167人	200人	基本目標 1
町いきいき活動ポイント登録者数	490人	600人	基本目標 1
日本語教室の開催（年間）	0回	30回	基本目標 1

Ⅳ 「成果指標」 （２）

指標名	令和5年度	令和11年	基本目標
	現況値	目標値	
就労継続支援利用者数（年間）	A型 5人 B型 32人	A型 7人 B型 75人	基本目標 1
許可を受けている地縁団体数	5団体	8団体	基本目標 1
町公式SNSのフォロワー数	7、290人	10、200人	基本目標 1
社会福祉協議会のボランティア登録人数	956人	1、100人	基本目標 1
観光入込客数	614、779人	800、000人	基本目標 1
6次産業化事業者数	2事業者	5事業者	基本目標 1
6次産業化商品数	2件	7件	基本目標 1
工業クラブに加盟する五霞町在住の就業者の割合	8.9%	10.0%	基本目標 1
町内の事業者数	318事業所 （商業259、工業59）	325事業所	基本目標 1
総合計画に掲げた成果指標が目標値を達成できた施策の割合	26.6%	100%	基本目標 1
住民の町政への意見・要望件数（年間）（まちづくり懇談会・町長の意見ボックス）	93件	100件	基本目標 1
大学及び企業等との協定締結数	9件	20件	基本目標 1
五霞町公共施設等総合管理計画アクションプランの進捗状況	86.4%	100%	基本目標 1
五霞町公共施設等の維持管理費	51、419千円	51、419千円	基本目標 1
書かない窓口で申請手続き可能な手続き数	25件	175件	基本目標 2
行政手続のオンライン化手続き数	34件	50件	基本目標 2
不法投棄ゴミ回収件数（年間）	30件	20件	基本目標 3
災害時応援協定の締結団体数	41団体	45団体	基本目標 3
住民の防災士資格保持者	11人	21人	基本目標 3
刑法犯総数に関する1、000人あたり犯罪件数（年間）	9.2件	7.0件	基本目標 3
未利用行政財産の活用率	76.8%	100%	基本目標 4